



企業の取り組みから得られるヒントをもとに、
リスキリングでアップデート！

いばらきリスキリングプロジェクト

リスキリング推進 シンポジウム 2024

2025 **2.19** 水 13:30-16:30

アーカイブ配信について



当日のライブ配信動画をYouTubeでご視聴いただけます。

視聴期間 2025年3月31日(月)まで

<https://ibaraki-rs.jp/symposia/#cnt02>

表彰企業からのコメント

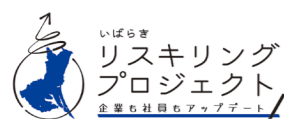


「2024年度 茨城県リスキリング推進企業等表彰」

ベストプラクティス賞・グッドプラクティス賞 受賞企業のコメントを掲載しています。

<https://ibaraki-rs.jp/promotion/awardscomment/>

ポータルサイト



リスキリング推進宣言制度や先進企業の取組など、
各種関連情報を掲載しています。

<https://ibaraki-rs.jp/>

AIマッチングシステム



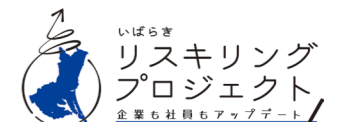
AIを用いて、適した職種や必要なスキルを学べる
講座を提案するシステムです。

<https://www.ibaraki-rsaimatching.jp/>

プログラム

- 13:30 **開会** 主催者挨拶：茨城県知事 大井川 和彦
- 13:35 **第1部 表彰式** 2024年度茨城県リスキリング推進企業等表彰
- 14:00 **第2部 基調講演** **人手不足時代を乗り越える
～中小企業におけるリスキリングの実践～**
講師：後藤 宗明 氏（一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ 代表理事）
- 14:50 **第3部 表彰企業による取組み内容発表**
海老根建設株式会社・有限会社櫻井運輸・水木木材工業株式会社
- 15:25 **第4部 トークセッション**
ファシリテーター：後藤 宗明 氏（一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ 代表理事）
パネリスト：滝川 麻衣子 氏（一般社団法人デジタルジャーナリスト育成機構理事、EVeM エバンジェリスト）
柳瀬 香織 氏（海老根建設株式会社 代表取締役）
櫻井 正孝 氏（有限会社櫻井運輸 代表取締役）
磯崎 盛司 氏（水木木材工業株式会社 専務取締役）
- 16:30 **閉会**
※閉会后17時まで会場参加者限定の交流会を開催します。（自由参加）

主催：茨城県／茨城県リスキリング推進協議会



お問合せ先(事業受託運営者)：茨城県リスキリング推進シンポジウム等実施事業運営事務局(株式会社セキショウキャリアプラス)

〒305-8515 茨城県つくば市東新井12-2

✉ reskilling@sekisho-career.co.jp FAX: 029-855-5180

TEL 029-859-0003
(受付/平日 9:00～18:00)



[この事業は、茨城県より株式会社セキショウキャリアプラスが委託を受け、運営しております。] 当社はプライバシーマークの付与事業者です。10862702(03)

茨城県リスクリング推進企業等表彰

ベスト
プラクティス
企業

海老根建設株式会社

主要業種：建設業

ICT活用で新たな職域を創出し、新事業展開へ
人材育成で会社全体の最適化を図る



企業概要

代表者 柳瀬 香織
本社所在地 茨城県久慈郡大子町大子1835-2
県内事業所所在地 茨城県高萩市春日町2丁目20-1 エースビル2-A
創立/従業員数 1916年 / 34名
事業概要 総合建設業

リスクリングの取組み

① リスクリングの方針決定・体制整備

- 新技術の多様化に対応していくために、個々のキャリアや能力に応じた得意分野を伸ばす人事戦略を策定。
- 経営者自ら学んだ知識や経験を社員に還元。学びを推奨する社内文化を醸成し、デジタル化の流れに対してもいち早く対応。

③ スキル習得機会の提供

- 受講料や講習料、専門書の購入費用など資格取得に係る費用は、すべて会社負担。従業員の資格取得の促進に寄与。
- 新たなスキル習得のため、ワークショップや同業他社との交流、メーカーによる直接指導や講習会などに積極的に参加。

② リスクリング環境の整備

- 建設ディレクター課の設置によりタスクシェアリングを行った結果、業務効率化が進み、学習時間を確保。
- 外部勉強会やセミナー参加を奨励するとともに、就業時間内のEラーニング受講やリモート学習の環境を整備。



④ 評価・処遇の改善

- 人事評価制度を適宜更新し、資格取得状況や能力に応じた賃金表を運用。リスクリングによる成果を公平公正に評価。
- レーザードローンや3Dスキャナーの活用など、習得したスキルを実践で活かすため、ICT施工に挑戦する機会を提供。

リスクリングの成果・効果

- 測量作業や検査の省人化・迅速化など、リスクリングによりICT化が進み、安全性と生産性の向上に繋がり、コスト削減にも成功。
- 重機・建設機械の教習所の教官となるためのリスクリングにより、特にシルバー層の新たな活躍の場を創出。

評価ポイント

-  建設ディレクター課の設置により、明確にジョブを切り分け、スキルの見える化を図り、デジタルに特化したリスクリングを戦略的に推進している。
-  リスクリングにより、ICT化による業務効率化を推進し、少ない人員で工期の短縮を実現しており、建設業界のロールモデルとなり得る。

県では、自らの経営戦略のもとリスクリングを推進し、生産性の向上や新分野への進出、従業員の処遇改善に積極的に取り組んでいる企業を、「リスクリング推進企業」として表彰します。

ベスト
プラクティス
企業

有限会社櫻井運輸

主要業種：運輸業

デジタルスキルと既存資源を活用しグリーン分野進出、
従業員の意欲を高め会社の成長へ



櫻井運輸
Logistics as a wheel of life.



企業概要

代表者 櫻井 正孝
本社所在地 茨城県古河市高野903-1
県内事業所所在地 同上
創立/従業員数 1975年 / 23名
事業概要 一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫業・流通加工サービス業、熱中症対策のための冷風扇・換気扇のレンタル販売事業、アップサイクル事業

リスクリングの取組み

① リスクリングの方針決定・体制整備

- 物流事業の競争力強化とグリーン分野の新規事業拡大のため、デジタルスキルや業界特有のスキルを習得するための人事戦略を策定。
- 経営者が業界内外から情報を取り入れ、広い視野で経営発展に必要な学びを追求し、社内のリスクリング体制を構築。

③ スキル習得機会の提供

- デジタル・グリーン分野に関して外部専門家のオンライン講習の受講等によりリスクリングし、進捗確認のため、月1回のミーティングを実施。
- 資格取得のための講座の受講料や受験料の全額または一部を補助し、従業員の学びを支援。

② リスクリング環境の整備

- 週1時間、業務時間内に学習時間を設け、学習の習慣化を促進。
- Eラーニングプラットフォームを活用し、従業員が自分のペースで学習できる環境を提供することで、リスクリング文化を醸成。



④ 評価・処遇の改善

- リスクリングの成果を評価するため、明確な基準を設定し、スキル習得や実績に基づく評価により資格手当を支給。
- 新規事業プロジェクトへの参加など、従業員が学んだスキルを実践できる機会を提供。

リスクリングの成果・効果

- リスクリングで得たデータ分析の知識を活用し、労働時間の可視化と出庫時間の最適化を図ることにより、月平均残業時間を10時間以下に短縮。
- 会社全体のリスクリングでグリーン分野におけるアップサイクル事業のビジネスモデルを構築。

評価ポイント

-  経営者がデータサイエンティスト育成講座を受講するなど、率先してリスクリングに取り組むことによって、物流事業での生産性向上を実現している。
-  デジタルとグリーン分野のリスクリングを同時に進め、従業員の適性に応じた学びの機会を与えつつ、雇用を守るためにグリーン分野における新事業を推進している。

茨城県リスキリング推進企業等表彰



水木木材工業株式会社

主要業種：木材・木製品製造業等

デジタル活用で他社との差別化を実現し、取引先と共に優位性ある企業体質に

MIZUKI



企業概要

代表者 小澤 仁康
 本社所在地 茨城県那珂郡東海村照沼150
 県内事業所所在地 同上
 創立/従業員数 1960年 / 34名
 事業概要 梱包用木箱、パレット、ドラム鏝の製造を軸とした各種木材加工品の製造販売
 ※特にニュージーランド産ラジアタ松の取り扱いが多くを占め、その販売先は県内にだけに限らず東北地方や近畿地方へも拡大

リスキリングの取組み

①リスキリングの方針決定・体制整備

- リスキリングを人材戦略の柱とする方針を示し、会社全体で共有するとともに、経営層、事務担当、現場担当からなるリスキリング推進チームを発足。
- ITチームメンバーが中心となり、デジタル化による業務改善と個人のスキルアップをバックアップする体制を構築。

③スキル習得機会の提供

- ITチームを対象とした「プログラミング入門講座」や若手従業員を対象としたデジタルツールの集中講座を実施するなど、個人のスキルに応じた研修を推進。
- キャリア形成支援のため専門家への相談を進め、個人向け面談を計画中。

②リスキリング環境の整備

- クラウド上でのスケジュール共有を活用し、スキル習得時間の調整を円滑化。個々のスキル習得時間を社内でバックアップ。
- リスキリングに繋がる外部セミナー等を会社側が積極的に案内するとともに、従業員へのノートPCやタブレットの配布で、学びやすい環境を創出。



④評価・処遇の改善

- 会社の利益を適切に従業員へ還元し、モチベーションの向上に繋げるため、リスキリングによる成果を適正に評価し、処遇に反映する制度を整備。
- 部門を超えた業務改善の応援体制を整え、現場担当者が取引先でのアプリ開発のためのヒアリングを行うなど、スキル活用の機会を積極的に提供。

リスキリングの成果・効果

- デジタル活用の推進により、生産性向上と取引先の業務改善が実現し、顧客の困り込み体制を確立。
- 業務改善アプリの内部開発により、時間外労働の削減や有休取得率が向上。賃金や賞与のベースアップも実現。

評価ポイント

-  仕入先と販売先両方の取引先を巻き込みながら、ネットワーク性をもってデジタル化に取り組み、受発注の完全自動化による付加価値向上を実現している。
-  学びの文化が根付いており、現場の課題に対し、現場の従業員自らデジタルツールをうまく活用して業務改善につなげている。



社会福祉法人仁心会

主要業種：医療・福祉

福祉の現場にデジタル導入
生産性向上とコスト削減で事業拡大を目指す



企業概要

代表者 丹野 大
 本社所在地 茨城県水戸市酒門町1177-3
 県内事業所所在地 茨城県水戸市酒門町1177-3 (みと東部特別養護老人ホーム)
 茨城県水戸市平須町2-72 (みと南部ケアセンター)
 茨城県ひたちなか市三反田3690-3 (特別養護老人ホームかつた)
 創立/従業員数 2017年 / 120名
 事業概要 社会福祉事業
 ※上記事業所において、みと東部特別養護老人ホーム、みと東部短期入所生活介護、みと東部デイサービスセンター、みと東部居宅介護支援事業所、みと南部ケアセンター、特別養護老人ホームかつたを運営

リスキリングの取組み

①リスキリングの方針決定・体制整備

- デジタル化による生産性向上を目指し、DX推進担当者を任命し、組織としてデジタル化を推進していくための体制を構築。
- 経営者や役員がDX推進の情報収集・発信を率先するとともに、ITコーディネーターとの定期的な面談によりITツールの導入方針を決定。

③スキル習得機会の提供

- 県データサイエンティスト育成講座や資格取得に関する講座の受講料及び学習教材等の必要な費用を全額負担。
- 年2回の1on1ミーティングや県のリスキリングAIマッチングサイトを活用した面談の実施により、職員のキャリア形成を支援。

②リスキリング環境の整備

- ITツール導入による業務効率化と働き方改革により、外部・内部研修やEラーニング研修時間を就業時間内に組み込み、勤務シフトを作成。
- PCやタブレットの適切な配置や学習場所の確保により、Eラーニングが実施できる環境を整備し、従業員のリスキリングを促進。



④評価・処遇の改善

- 従業員から受講した研修の結果報告を受け、取得資格や習得したスキルを新たな業務に活用する機会を提供。
- 習得したスキルの活用による実績や成果を人事評価や処遇改善に反映。

リスキリングの成果・効果

- デジタルツールの導入により、業務効率化を実現。従業員の離職者の低下にも繋がっている。
- 業務効率化の結果、採用や営業活動を強化でき、従業員や利用申込者の増加につながっている。

評価ポイント

-  福祉業界の現状として、デジタルツールの従業員全体の活用が難しい中、組織の生産性の向上につなげるための体制が構築されている。
-  DX推進担当者を設置し、積極的に外部研修を受講することで、デジタル化による生産性向上に繋がっている。

茨城県リスクリング推進企業等表彰



株式会社ベテル

主要業種：プラスチック・ゴム製品製造業

DX推進による生産性向上と、
海外新規顧客の獲得で事業拡大を目指す



企業概要

代表者 鈴木 潤一
 本社所在地 茨城県石岡市荒金3-11
 県内事業所所在地 茨城県土浦市桜町4丁目3-18 土浦ブリックビル1F (熱物性事業所)
 創立/従業員数 1973年 / 105名
 事業概要 医療機器の開発、製造、販売
 電気部品及び機械部品の組立、製造
 プラスチック精密金型設計、製造、販売、金属部品加工
 熱物性測定に関する装置の開発、製造、販売
 ギヤードモータ事業

リスクリングの取組み

① リスクリングの方針決定・体制整備

- DX推進係の新設や、DX推進委員会の立ち上げにより、部署横断的なDX推進に向けての連携強化やスキル向上のための体制を構築。
- 営業部門に海外販路拡大の担当者を配置し、グローバル展開の推進に向けた語学のリスクリング推進体制を構築。

③ スキル習得機会の提供

- 社員に年1件以上の外部研修の受講を促し、会社が許可した研修は、就業時間内の受講を認め、スキル習得に係る費用を全額負担。
- 高い志と会社の発展に資する研究等は、社会人大学生としてオンライン講義受講や研究室への通学を業務として認め、学びを後押し。

② リスクリング環境の整備

- DX推進委員会での定期的な勉強会の実施や、Eラーニングの活用により、就業時間内のリスクリング時間を確保し、リスクリング文化を醸成。
- 語学教育受講者にタブレットやノートPCを貸与し、学習しやすい環境を提供。



④ 評価・処遇の改善

- DX推進委員やプロジェクトへの参画者には、賞与で手当加算を実施するとともに、業務改善や生産性向上に貢献した者には社長賞を授与。
- DX推進委員会の活動内で立ち上げた、新たなデジタル導入を実現するためのプロジェクトに従業員を抜擢。

リスクリングの成果・効果

- デジタルスキルの習得に意欲的な従業員を会社のDX推進の中心メンバーへ抜擢し、処遇改善に繋げるしくみを構築。
- 語学スキルが向上したことにより、海外展示会での発表や商談が進み、海外での顧客獲得が図られている。

評価ポイント

-  会社のビジョンを明確に示し、従業員一人ひとりに共有することにより、会社の成長に繋がる積極的な学びが行われている。
-  海外への販路開拓という明確な目的をもって語学などのリスクリングに取り組んでいる。

奨励賞

引き続き取組みが期待される企業

結城信用金庫



代表者 石塚 清博
 本社所在地 茨城県結城市大字結城557
 従業員数 234名
 創立 1902年
 県内事業所所在地 茨城県結城市大字結城557 他22店舗
 事業概要 金融業務全般
 明治35年創立、茨城県西部を中心に24店舗を有する地域金融機関。

宣言の申込はこちら



いばらきリスクリング推進宣言企業 計76社 (2025年1月31日現在)

農業、林業

(株)ドロップ

建設業

浅野物産(株)
 (株)石島建設
 海老根建設(株)
 桂建設(株)
 関東道路(株)
 栗山工業(株)
 (株)鯉淵工業
 三光建設(株)
 常総ブロック(株)
 (株)水工エンジニアリング
 (株)染谷工務店
 (株)仲川建設
 (株)ノーブルホールディングス
 (株)鉾田クレーン工事

製造業

(株)あけぼの印刷社
 (株)石崎製作所
 (有)黒澤醤油
 (株)第一機電
 (株)タンゲ製作所
 トモエ乳業(株)
 日東自動車機器(株)
 日東電気(株)
 ひげた食品(株)
 (株)ヒバラコーポレーション
 (株)HIRANUMA
 B.I.S(株)
 (株)ベテル
 マルイアドバンス(株)
 水木木材工業(株)

電気・ガス・熱供給・水道業

(株)いずみや
 富士水質管理(株)

情報通信業

(株)アサイン
 (株)茨城新聞社
 (特非)ちゃんみよTV
 (株)ネットクロス
 マーブル(有)
 ログスウェア(株)

運輸業、郵便業

埼玉運輸倉庫(株)
 (有)櫻井運輸
 (株)トレンディ茨城

卸売業、小売業

アオキ(株)
 (株)easypeasy
 茨城いすゞ自動車(株)
 (株)ケーズホールディングス
 (株)幸田商店
 (株)さくた
 (株)サンテ
 (株)JOY AT WORK
 関彰商事(株)
 (株)NEXT・カワシマ
 (株)フジタビジネスマシズ
 水戸ヤクルト販売(株)
 (株)ユニゾンモバイル

金融業、保険業

茨城県信用保証協会
 (株)常陽銀行
 (株)筑波銀行
 結城信用金庫

不動産業、物品貸借業

一誠商事(株)

宿泊業、飲食サービス業

(株)まえけん

学術研究、専門・技術サービス業

社会保険労務士法人KAN Support Office
 (税)報徳事務所
 (株)増山会計

生活関連サービス業、娯楽業

(株)茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント

教育、学習支援業

イーディーエル(株)

医療、福祉

(株)サシノベルテ
 (福)秀桜会
 (福)尚生会
 (福)仁心会
 (福)征奉会
 (福)泰仁会
 日本赤十字社 水戸赤十字病院

複合サービス事業

(株)RTプランニング

サービス業(他に分類されないもの)

(株)KAI Planning
 カーレポ(株)
 (株)日宣メディックス

基調講演 講師 & トークセッション ファシリテーター

一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ 代表理事

後藤 宗明氏

日本におけるリスキリングの第一人者。2021年、リスキリングに特化した非営利団体、一般社団法人「ジャパン・リスキリング・イニシアチブ」を設立。2022年にはスキルを可視化するリスキリングプラットフォーム「SkyHive Technologies」の日本代表に就任。経済産業省「スキル標準化調査委員会」委員や広島県の「リスキリング推進検討協議会/分科会」委員、リクルートワークス研究所の客員研究員などを歴任。企業向けのリスキリング導入支援、政府や自治体向けの政策提言を実施している。著書には、「自分のスキルをアップデートし続けるリスキリング」「新しいスキルで自分の未来を創るリスキリング【実践編】」「中高年リスキリング」がある。2024年、いばらきリスキリング戦略アドバイザーに就任。



トークセッション パネリスト

一般社団法人デジタルジャーナリスト育成機構理事、EVeM エバンジェリスト

滝川 麻衣子氏

大学卒業後、産経新聞社に入社し経済ニュースを幅広く取材。2017年4月からBusiness Insider Japanの立ち上げに参画。記者・編集者、副編集長を務め、働き方や生き方をテーマに取材。2021年に社会人教育のスクー入社。執行役員Chief Content Officerとして学びのコンテンツの企画制作に従事。2024年にSchooエバンジェリスト。2024年11月、マネジメント向けトレーニングを提供するEVeM入社。マネジメントを技術として教えるエグゼクティブトレーナーに従事。ジャーナリストや編集者仲間と立ち上げた、一般社団法人デジタル・ジャーナリスト育成機構理事も兼務。



2024年度茨城県リスキリング推進表彰企業



海老根建設株式会社
代表取締役

柳瀬 香織氏

デザイン専門学校卒業後、アパレル会社入社。その後、1995年に海老根建設株式会社に入社、2003年に代表取締役就任。現在、(一社)茨城県建設業協会常任理事、建女ひばり会会長を務める。新しい建設業を目指し、2019年には建設業に多い日給制を廃止し、職種による格差を失くすと共に、評価シートによる公正な人事評価により、社員のモチベーション向上に繋げ、積極的にチャレンジする社内文化の醸成に努めている。1人ひとりの「働くをデザインする」会社運営を目指している。



有限会社櫻井運輸
代表取締役

櫻井 正孝氏

大学卒業後、大手総合物流会社へ出向。2002年4月に有限会社櫻井運輸へ戻り、2007年11月代表取締役に就任。「日本で一番働きやすい物流企業」を目指し、社内改革に取り組む。デジタコデータを活用した出庫時間最適化により全ドライバーの月平均時間外労働時間を10時間以下に削減。また、経営の多角化を進め、換気扇・冷風扇の販売レンタルを行う職場環境改善事業や豊かで持続可能な社会の実現に貢献するためアップサイクル事業を展開中。



水木木材工業株式会社
専務取締役

磯崎 盛司氏

1999年に水木木材工業株式会社入社。2002年工場長への就任をきっかけにデジタル技術導入を進めていく。2007年経営者研修会(IT経営研修会)へ参加し本格的にデジタル活用を進める。2016年サイボウズ社のKintone利用開始をきっかけに社内デジタル人材育成を進める。現在はデジタル化が遅れる木材業界にありながら、積極的にデジタル技術を活用し他社との差別化を図る。特にクラウドを利用した顧客との情報共有や、社内人材育成に力を入れながら営業展開している。

茨城県リスキリング推進政策パッケージ 概要版



現状認識

我が国の産業の動向

- 人口減少やDX・GXの進展により、**産業構造が急速に変革**
- 我が国の一人あたりGDPは、大きく後退し、**賃金の伸びも低水準で推移**
- 将来、**雇用のミスマッチやスキルギャップ**が発生(エンジニアの需要増、事務・販売従事者の需要減)



高齢化の推移と将来推計

区分	2021年	2065年	増減
15~64歳	7,450万人	4,529万人	▲39%
総人口	12,550万人	8,808万人	▲30%

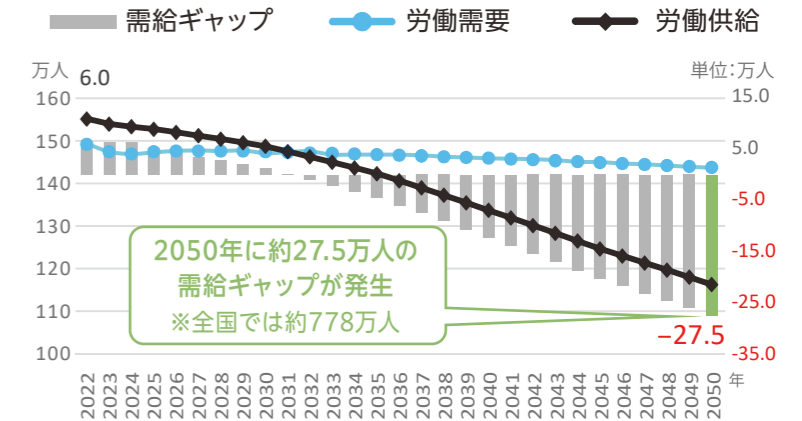
(2023年版高齢社会白書)

労働需要の推計

区分	2020年	2050年	増減	
製造業	エンジニア IT技術者、製品開発者等	102万人	144万人	41%
	事務・販売従事者	236万人	144万人	▲39%
卸売・小売業	エンジニア(同上)	42万人	48万人	14%
	事務・販売従事者	753万人	524万人	▲30%

(経済産業省：未来人材ビジョン)

本県における労働需給シミュレーション(全産業)



参考：本県における労働需要の見通し/2023.9中間とりまとめ
(国調査等を参考に本県が独自に調査)

今後の取組の方向性



本県産業の持続的発展には、あらゆる施策を総動員し、**戦略的・体系的に政策展開**を図ることが必要。

特に、人手不足分野での人材確保に加え、人的資本の観点から、リスキリングにより、企業において求められるスキルの習得を支援し、生産性向上や賃金水準の向上の実現を図ることが喫緊の課題。

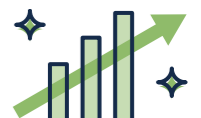
リスキリング推進上の課題

多くの企業において、**総論としてリスキリングの意義を理解**しつつ、例えば、**人材の流出に懸念**が示されるなど、その**意義が十分に理解されていない**。また、多くの企業が、リスキリングの推進に関心を寄せつつも、成長産業・分野で求められるスキルがイメージできておらず、**何をリスキリングしてよいか分からない**。



リスキリング推進による将来像

企業・企業人が、自らの成長戦略・キャリアデザインのもと、意欲的にリスキリングに取り組むことにより、**新たな産業・分野で必要となる知識やスキルの習得**が進み、**成長産業や成長分野への円滑な労働移動と企業及び社会全体の生産性の向上、賃金水準の向上**が図られている。



リスキリング推進施策① 意識啓発・機運醸成

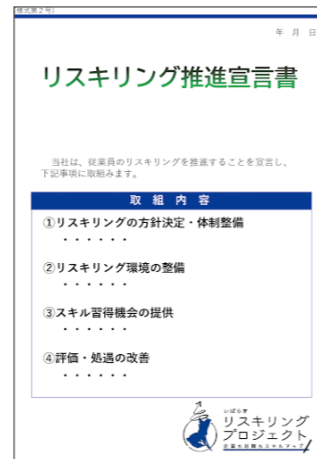
01 推進宣言制度の創設・先進企業の顕彰

リスキリング推進宣言制度を創設し先進的な企業を顕彰。
リスキリングのマニュアルを作成し、企業の取組を後押し。

事業KPI (3年間)

リスキリング推進宣言企業数 **150**社 / うち顕彰企業数 **30**社

企業人約50,000人*のリスキリング環境を構築
*県内大企業の50社、中規模の企業の100社が
リスキリング環境を構築することを想定



02 ワークショップ・シンポジウムの開催

ワークショップ
(経営者・人事担当者向け) ▼



ワークショップ
(個人向け) ▼



シンポジウム ▼



03 ポータルサイトの開設・運営

リスキリングの意義・必要性、先進事例、推進施策、
イベント等の情報発信。



いばらきリスキリングプロジェクト
<https://ibaraki-rs.jp/>



リスキリング推進施策② スキル習得支援

01 スキルの見える化

生産性向上と競争力強化の鍵となるデジタルスキル、
業種を問わず求められるポータブルスキルの習得が必要。



デジタルスキル
データ分析、
システム設計、AI、
UIデザイン、
セキュリティ等



ポータブルスキル
問題発見能力、
将来を見通す力、
革新性、
戦略的思考等

02 県認定講座の設置

デジタルに関する「理論」の習得と、企業の課題をケーススタディとする「実践」を
組み合わせた、**県認定リスキリング講座**の受講を推進し、**デジタルリテラシー人材を育成**。



実践講座

受講対象 | Di-Liteレベルの知識を有する県内在住の企業人

講座内容 | テーマ: ①生産性向上(製造業)、②顧客管理(業種横断)、③デジタルマーケティング ※2024新規

内容: ◆先進事例企業見学 ◆受講者の所属する企業の見学
◆グループ単位でのデジタル化計画の検討 ◆検討内容の発表

日程 | 6日間(平日)

修了者を県が認定する制度を導入
(オープンバッジの活用等)

オープンバッジ▶



03 AIマッチングシステムの運用

職種や経験年数、保有資格、アンケート等に基づき、
AIを用いて各個人に適した職種や必要なスキルを学べる
リスキリング講座(デジタルスキル・ポータブルスキル)を提案。

県リスキリングアドバイザーがマッチングの結果を活用した
キャリア相談を実施。



いばらきリスキリングプロジェクト
AIマッチング



宣言制度・県認定講座等
お問い合わせ先

茨城県産業戦略部産業人材育成課人材育成グループ

029-301-3653

rousei4@pref.ibaraki.lg.jp